

# むつみ地域の公共交通の課題と将来像(案) について

むつみ地域意見交換会

平成31年2月

## 1. アンケート調査結果の概要

- ・萩市全体
- ・むつみ地域

## 2. むつみ地域の公共交通利用実態調査結果の概要

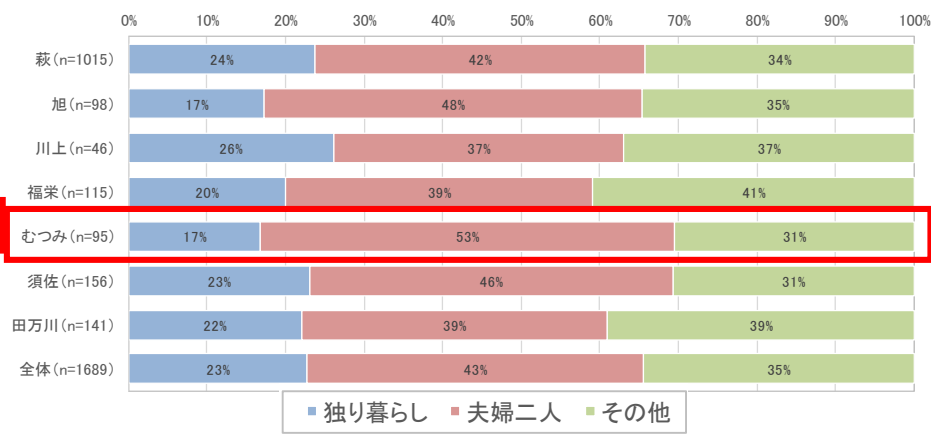
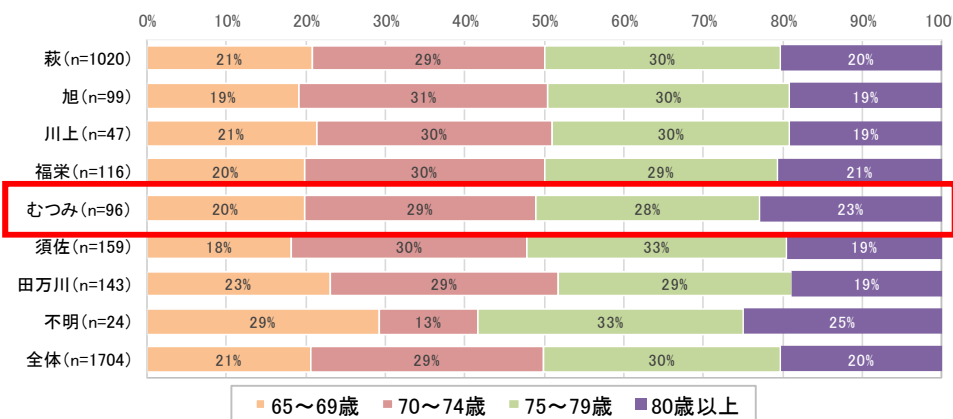
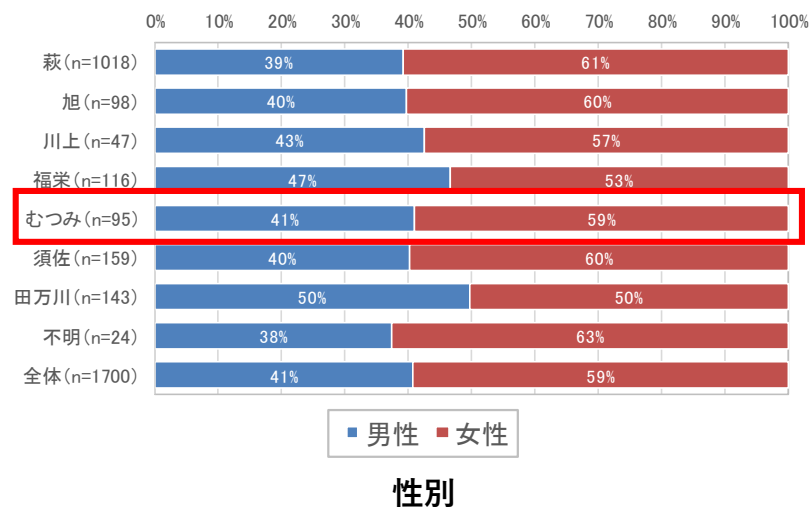
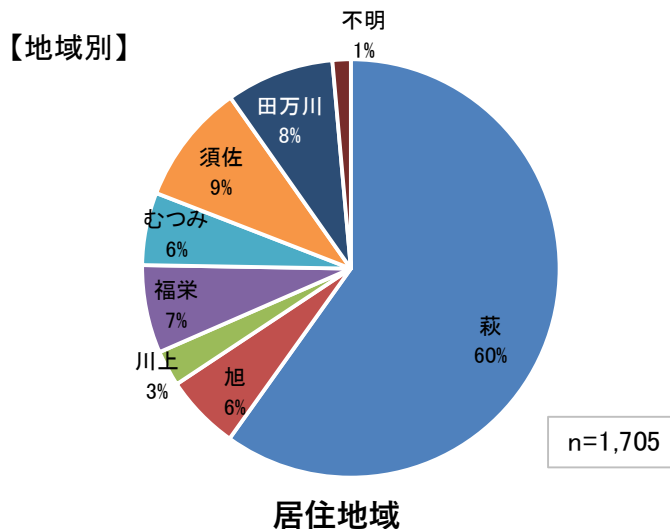
- ・路線バス(防長交通)
- ・ぐるっとバス

## 3. 高齢者生活支援バスについて

## 4. むつみ地域の公共交通の課題と将来像(案)について

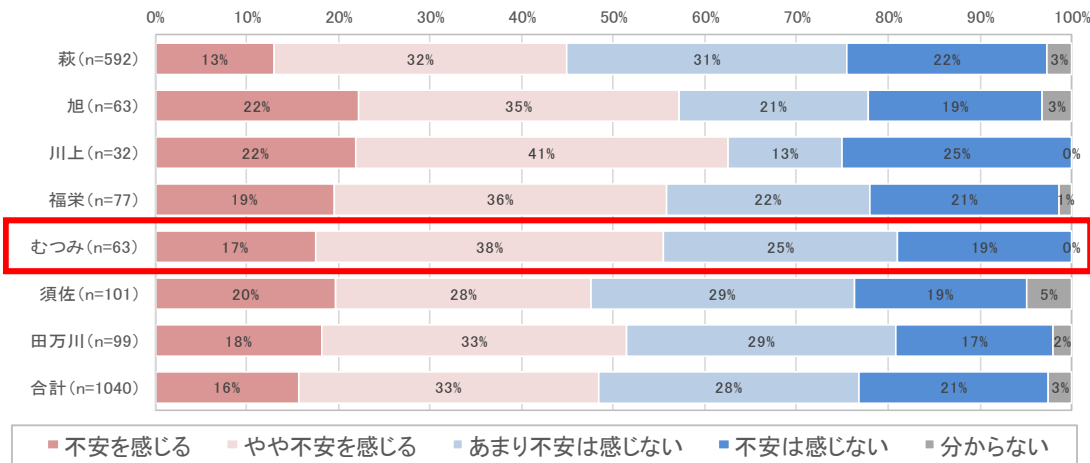
# 1. アンケート調査結果の概要（萩市全体）

- 市内に居住する65歳以上の方を対象にアンケート調査を実施しました。
- 無作為に抽出した2,000名の内、1,705名の方から回答が得られました。（回答率85%）
- むつみ地域は、無作為に抽出した111名の内、96名の方から回答が得られました。（回答率87%）
- 居住地・性別・年齢・家族構成などの回答者の属性は、以下のとおりです。

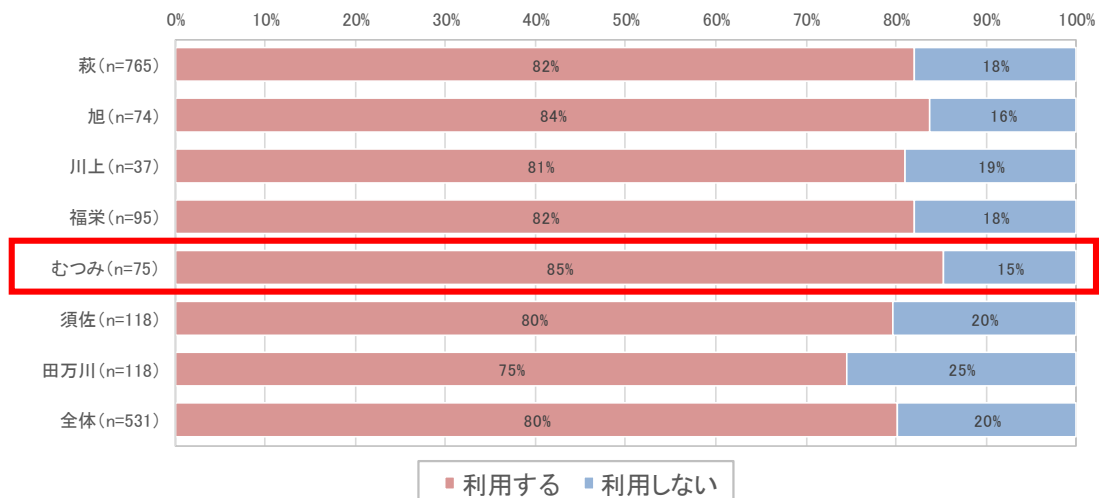


# 1. アンケート調査結果の概要（萩市全体）

- 自動車運転免許保有者の近い将来の運転への不安は、「不安を感じる」が2割、「やや不安を感じる」が3割であり、半数の方が近い将来の運転への不安を抱えています。
- 自動車の運転が不安になった場合、路線バス等の公共交通の利用意向は、「利用する」が8割を占めています。



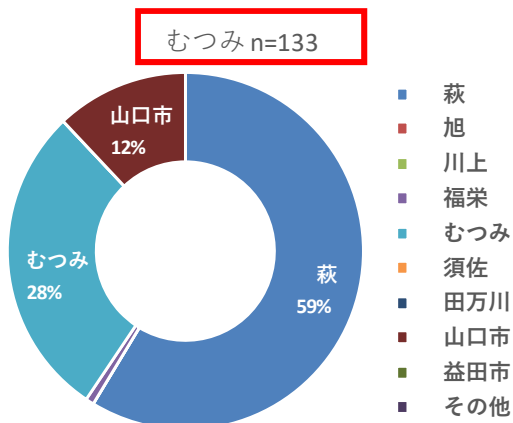
近い将来の運転への不安（自動車運転免許保有者）



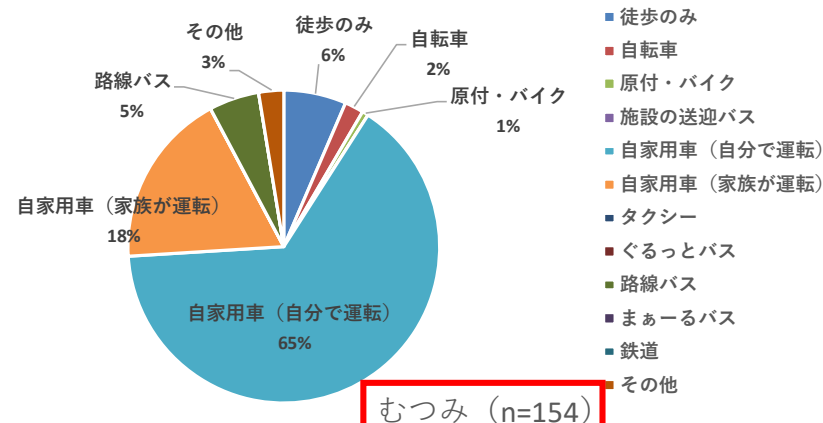
自動車の運転が不安になった場合、路線バス等の公共交通の利用意向

# 1. アンケート調査結果の概要（むつみ地域）

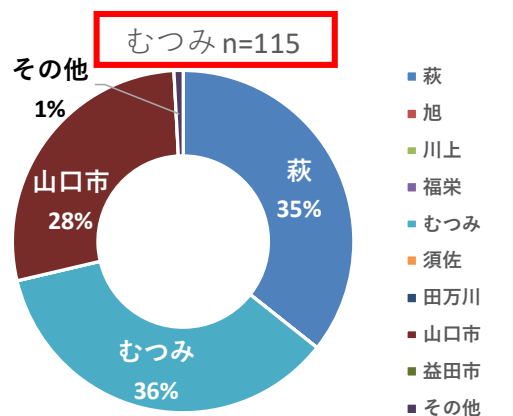
- むつみ地域の高齢者の買物や通院は、萩地域やむつみ地域内、山口市への移動がみられます。
- 交通手段は、「自家用車(自分で運転)」が7割、「自家用車(家族が運転)」が1割であり、公共交通（路線バス・ぐるっとバス）の利用は1割にも満たない状況です。



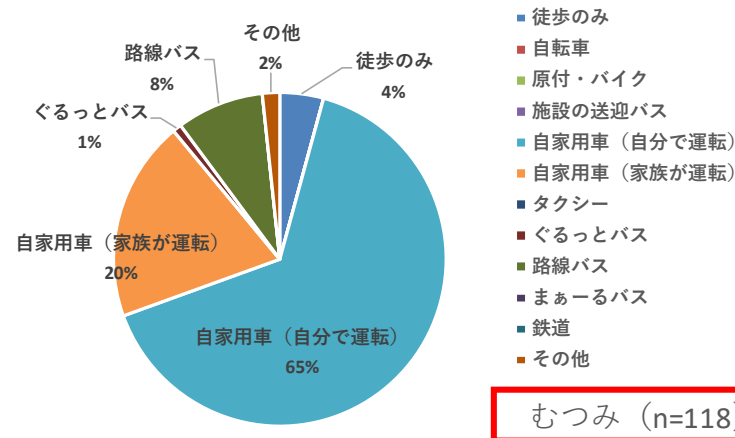
買物でよく利用する地域（お店）



買い物での交通手段



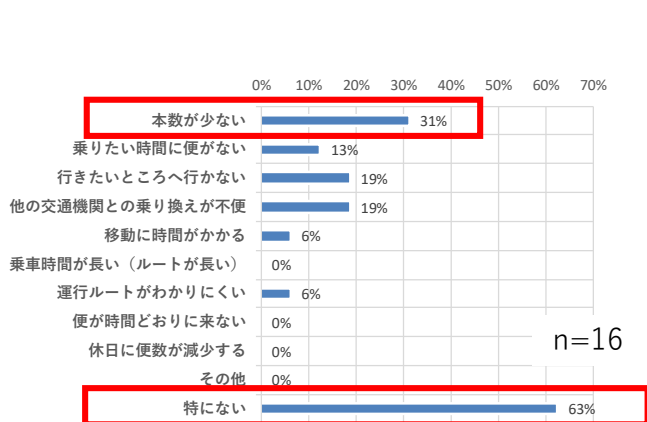
通院でよく利用する地域（病院）



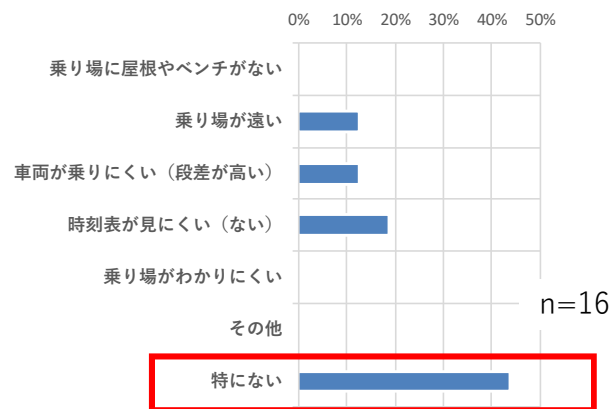
通院での交通手段

# 1. アンケート調査結果の概要（むつみ地域）

- 運行ダイヤ・ルートに関する不満点については、「特にない」が6割で他地域と比較して不満が少なく、「運行本数が少ない」が3割でした。
- 車両や乗り場に関する不満点については、「特にない」が4割でした。
- 今後の公共交通の見直しについては、「料金を安くする」が4割、「バスを小型化する」が2割でした。吉部バス停から萩地域までの片道運賃は1,120円であり、利用者が負担に感じていると考えられます。



公共交通の運行ダイヤ・ルートに関する不満点



公共交通の車両や乗り場に関する不満点

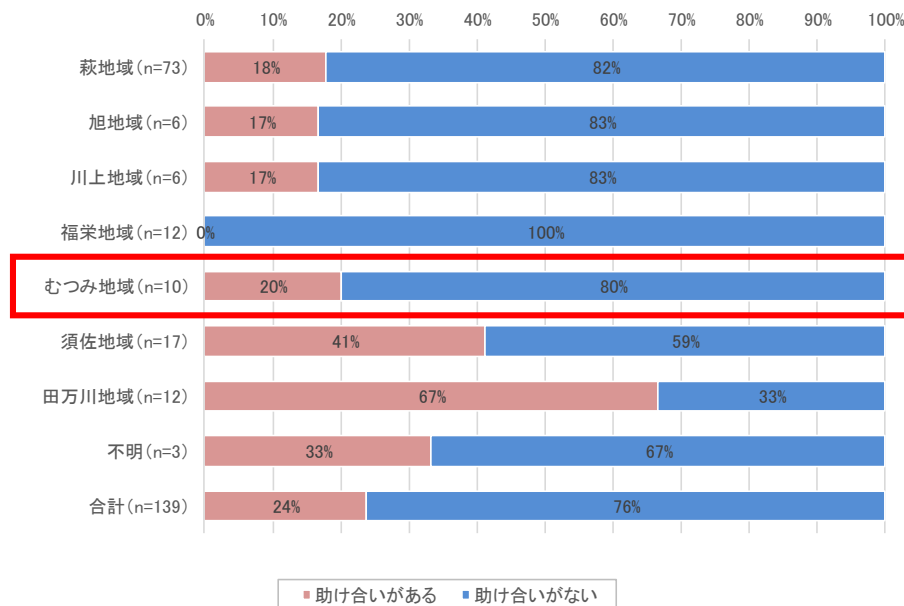


今後の公共交通の見直しについて

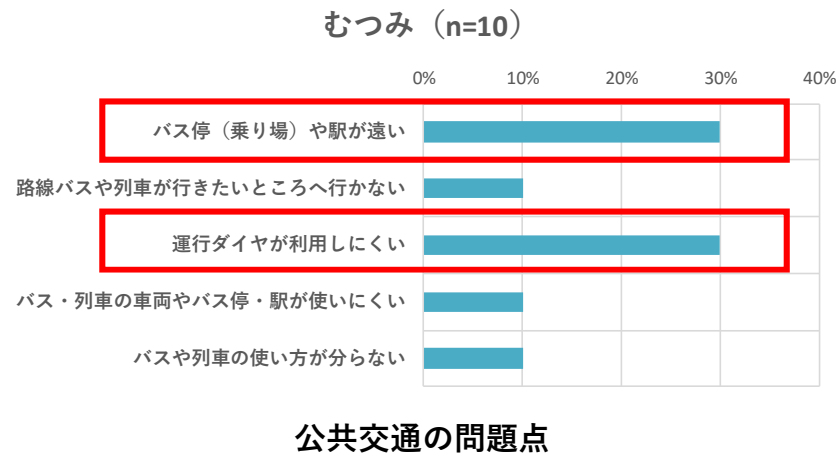
# 1. アンケート調査結果の概要（むつみ地域）

## 【民生委員アンケート調査結果】

- 民生委員173名 回答者数145名（むつみ地域民生委員回答者数10名）
- むつみ地域内での移動に関する助け合い（買物や通院支援等）は、「助け合いがある」が2割、「助け合いがない」が8割であり、地域内の移動に関する助け合いはあまり行われていない状況となっています。
- 公共交通の問題点としては、「バス停(乗り場)や駅が遠い」が3割、「運行ダイヤが利用しにくい」が3割でした。



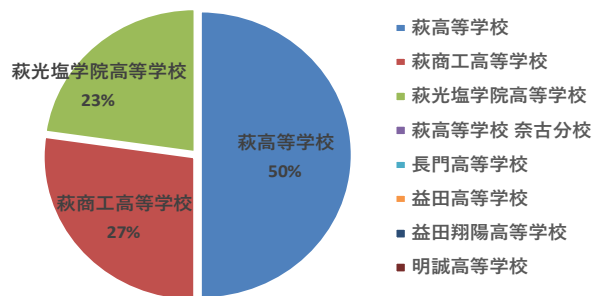
地域内での移動に関する助け合い（買い物や通院支援等）



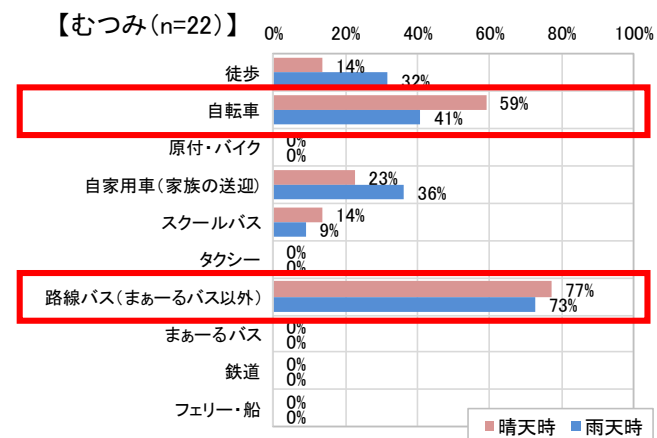
# 1. アンケート調査結果の概要（むつみ地域）

## 【高校生アンケート調査結果】

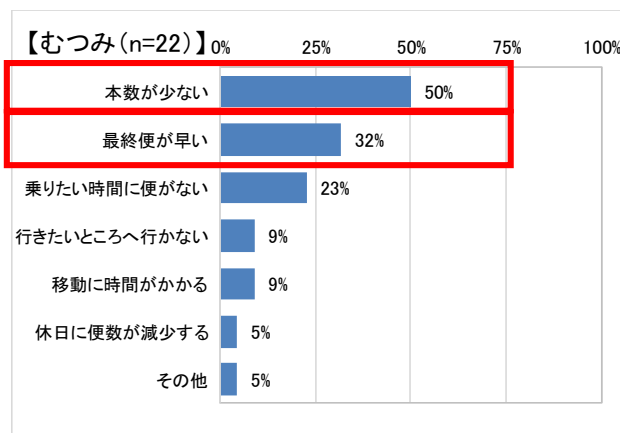
- 高校生986名 回答者数888名（むつみ地域高校生回答者数22名）
- **高校生の通学先は、萩地域へ全ての学生が通学**しています。
- 通学手段は、「**路線バス**」が7割を占め、**路線バスの維持・確保が重要**となります。
- 公共交通に関する不満点については、「**運行本数が少ない**」が5割、「**最終便が早い**」が3割となっています。



むつみ地域 (n=22)  
通学先



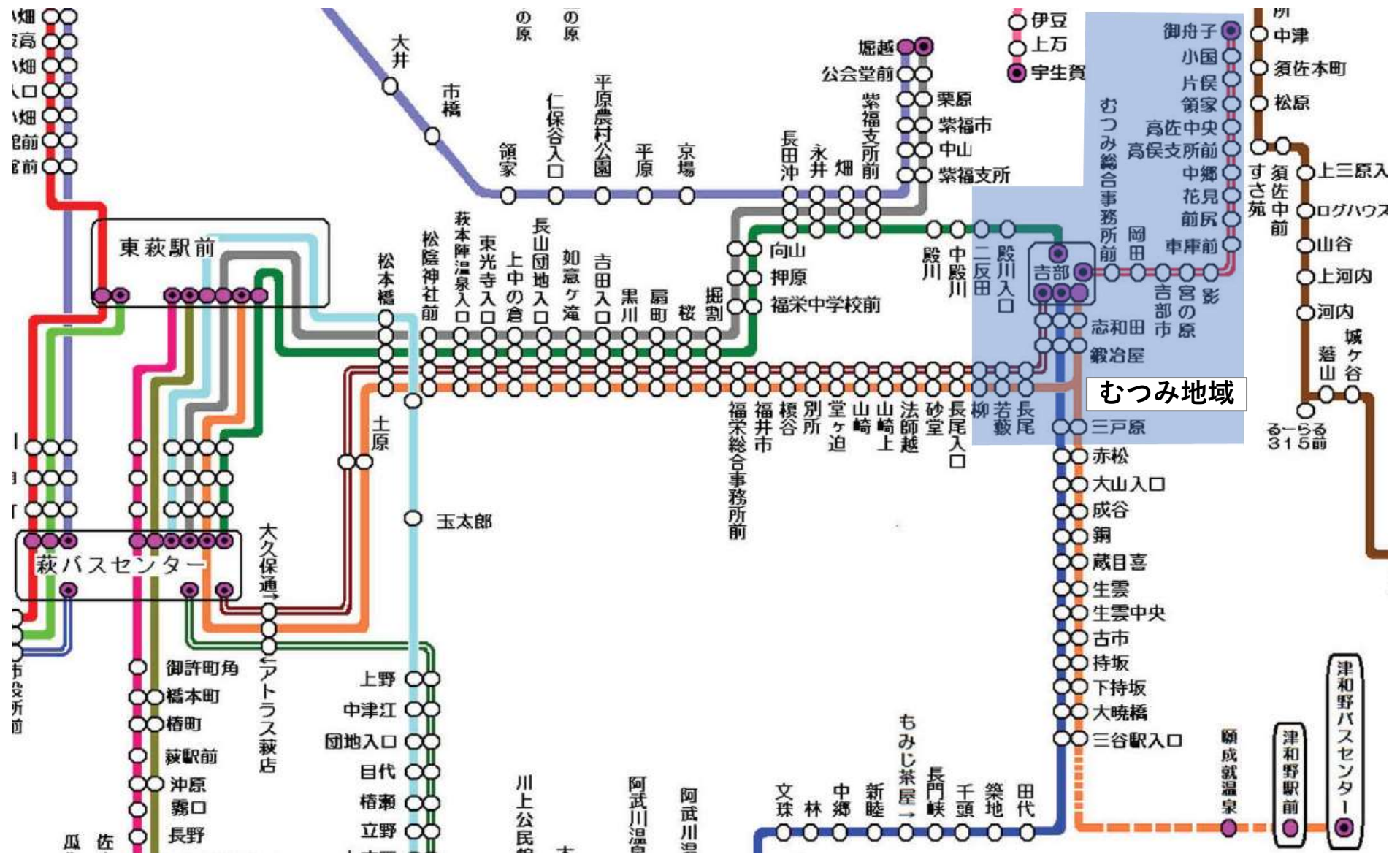
高校生の通学手段



公共交通に関する不満点



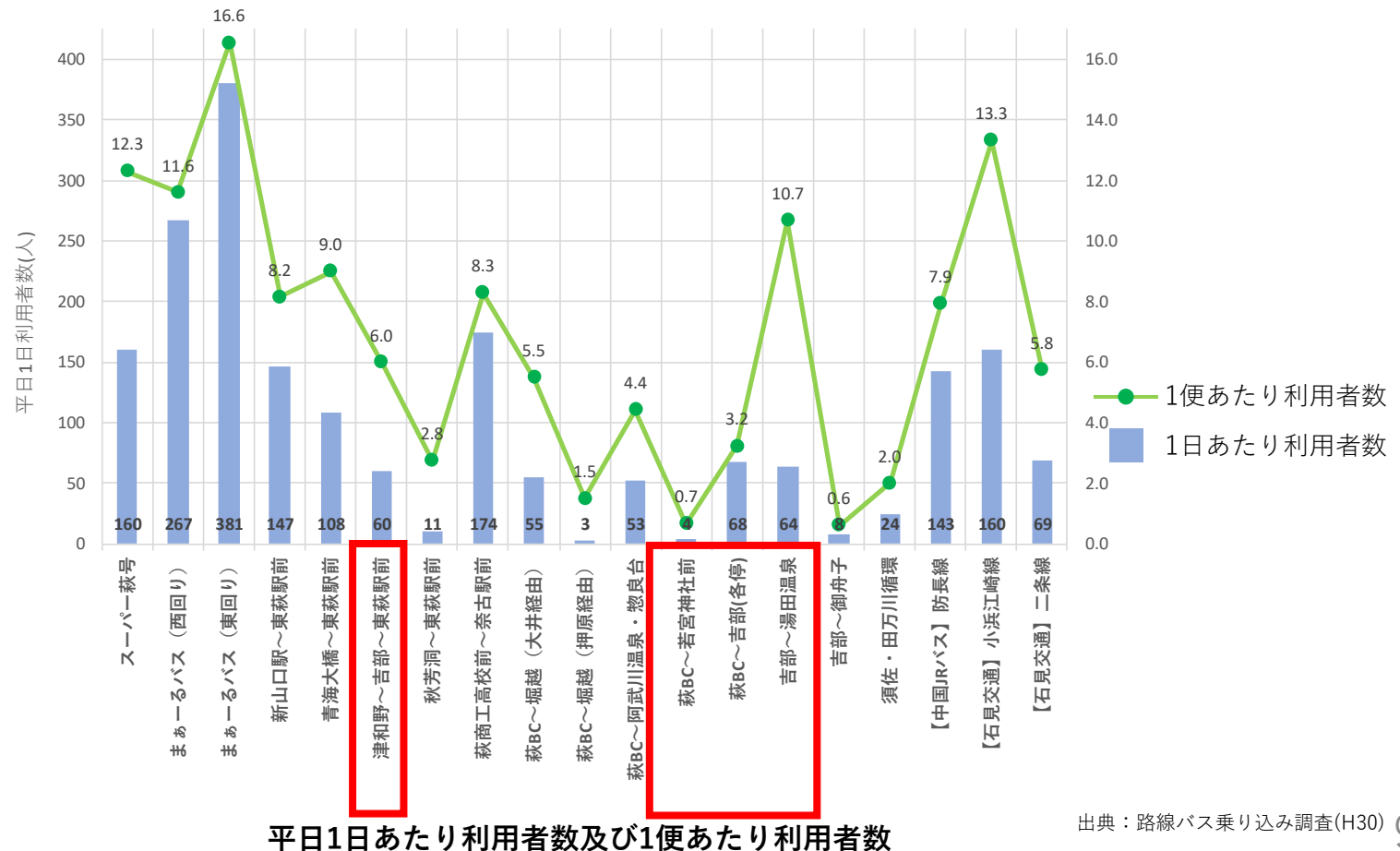
## 2.むつみ地域の公共交通利用実態調査結果の概要(路線バス)



防長交通路線図

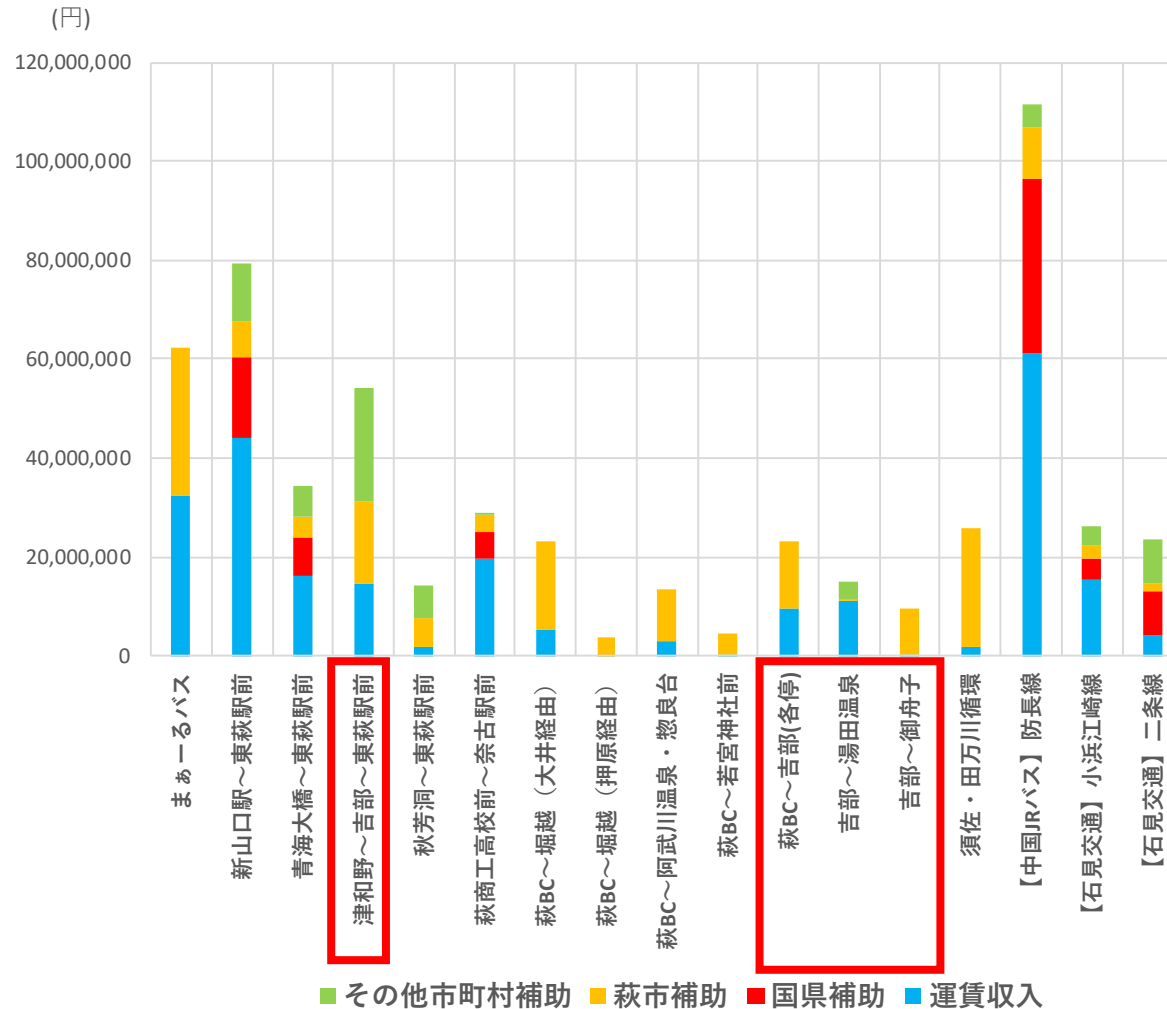
## 2.むつみ地域の公共交通利用実態調査結果の概要(路線バス)

- 萩市全域の路線バスの平日1日あたりの利用者数、1便あたりの利用者数を整理しました。
- むつみ地域を運行する路線バスは、防長交通の「津和野～吉部～東萩駅前線」「萩バスセンター～吉部線」「吉部～湯田温泉線」「吉部～御舟子線」があります。
- **「吉部～御舟子線」は、1便当たりの利用者数が0.6人となっており、他の路線と比較して利用者数が少なくなっています。**
- 「津和野～吉部～東萩駅前線」「萩バスセンター～吉部線」「吉部～湯田温泉線」は、1便あたり3～10人の利用があります。



## 2.むつみ地域の公共交通利用実態調査結果の概要(路線バス)

- 萩市全域の路線バスの運賃収入及び国、県、萩市、その他自治体による補助金額を整理しました。
- 利用の低迷しているバス路線もあり、萩市の財政負担は増加傾向にあります。

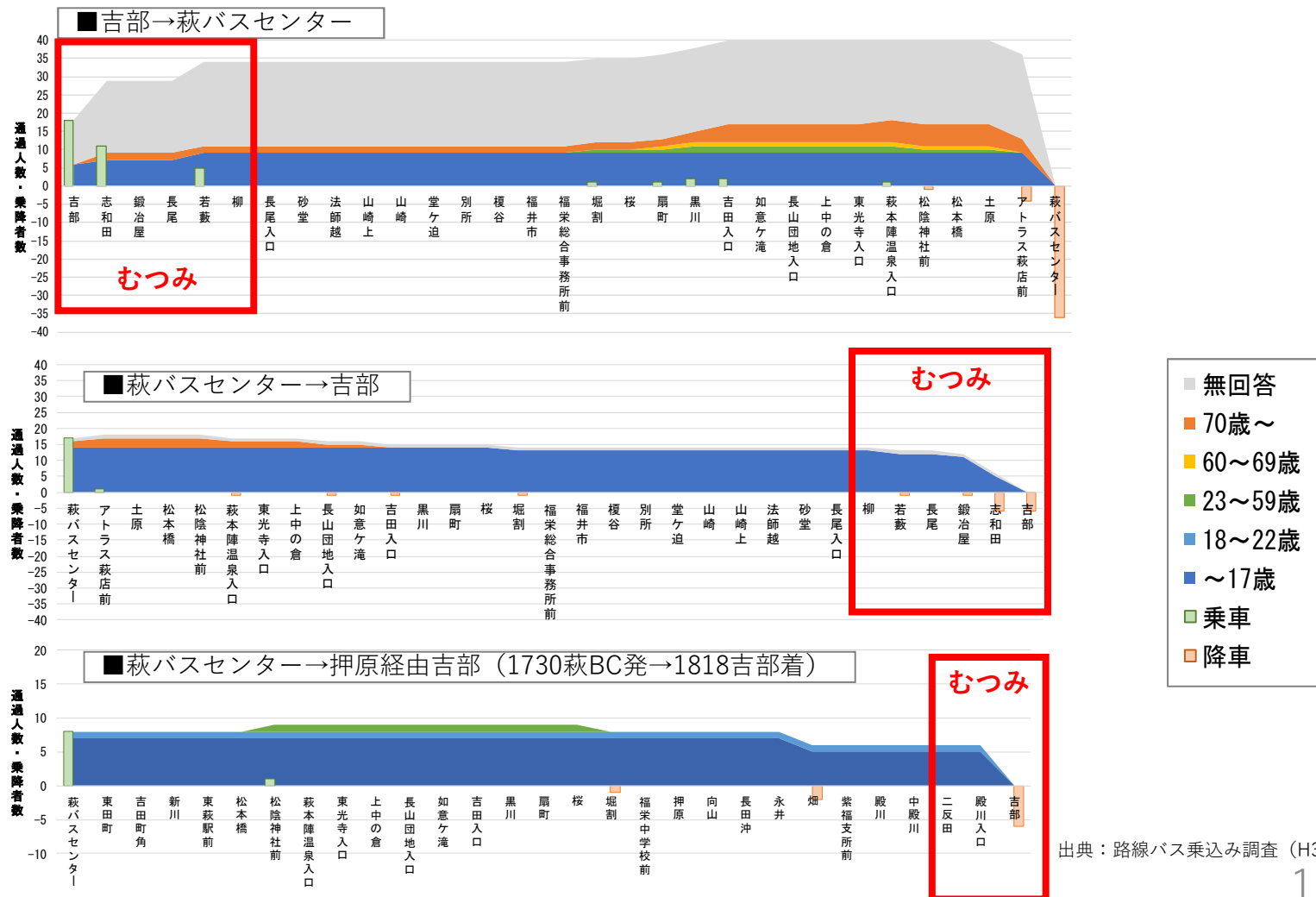


運賃収入・補助金額(欠損額)

## 2.むつみ地域の公共交通利用実態調査結果の概要(路線バス)

### 【防長交通 萩バスセンター～吉部線】

- 萩バスセンター～吉部線は、1日あたり12便運行しています。
- 吉部や志和田から乗車して萩バスセンターまで利用する学生が多く、萩地域への通学手段として重要な役割を担っています。

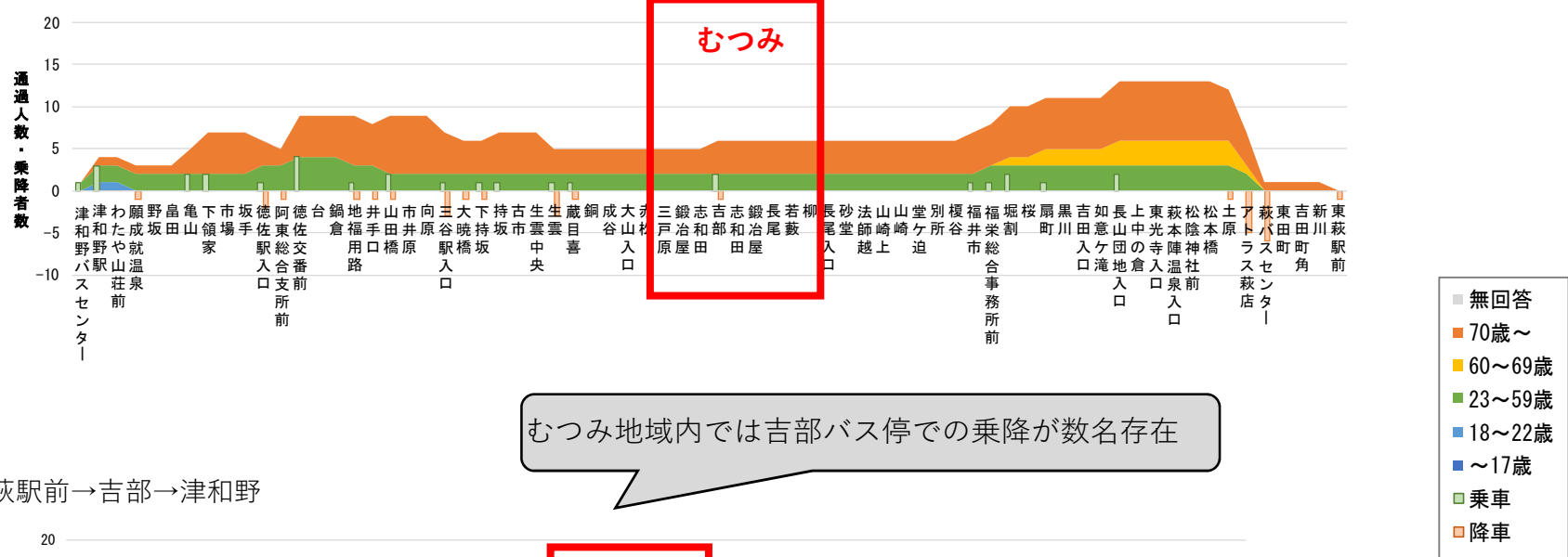


## 2.むつみ地域の公共交通利用実態調査結果の概要(路線バス)

### 【防長交通 津和野～吉部～東萩駅前線】

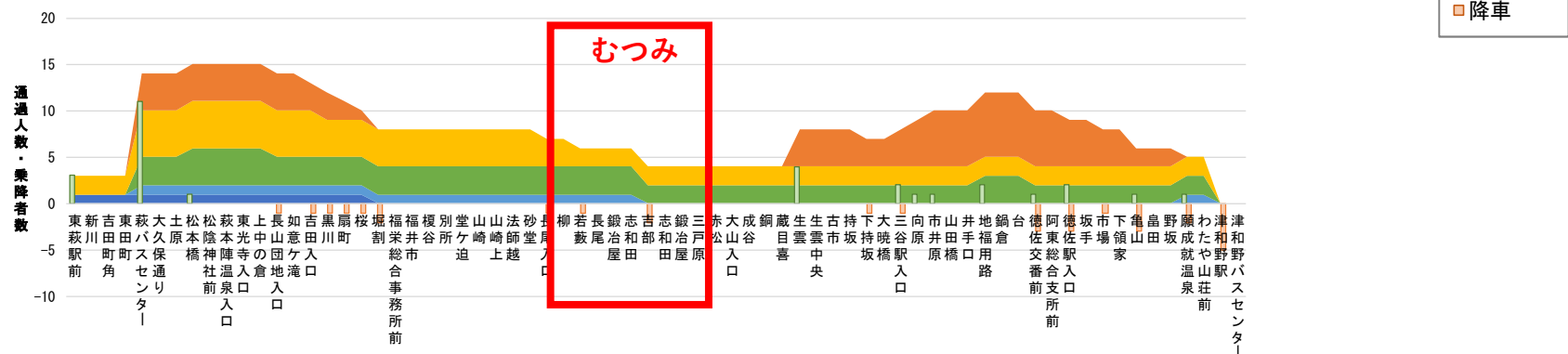
- 津和野～吉部～東萩駅前線は、1日あたり10便運行しています。
- 山口市内での高齢者の利用が最も多く、萩地域での利用もあります。萩バスセンターから津和野駅まで観光目的で利用される方もいます。
- **むつみ地域内では、吉部バス停での利用があります。**

#### ■津和野→吉部→東萩駅前



むつみ地域内では吉部バス停での乗降が数名存在

#### ■東萩駅前→吉部→津和野

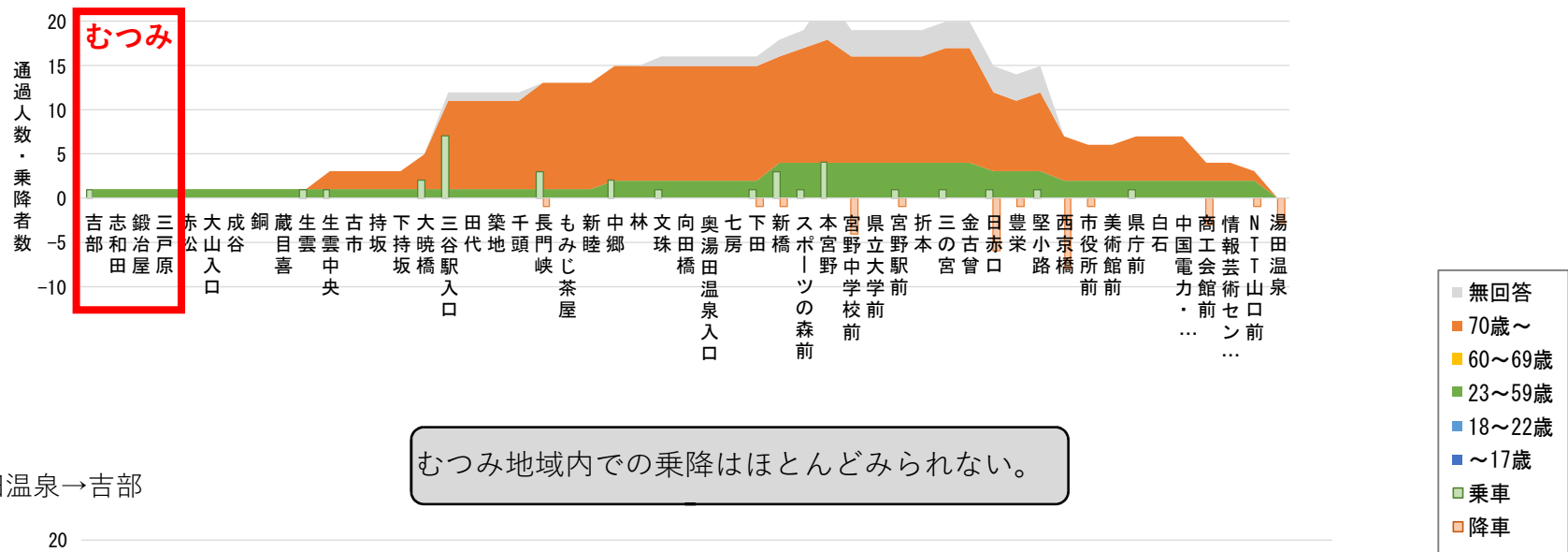


## 2.むつみ地域の公共交通利用実態調査結果の概要(路線バス)

### 【防長交通 吉部～湯田温泉線】

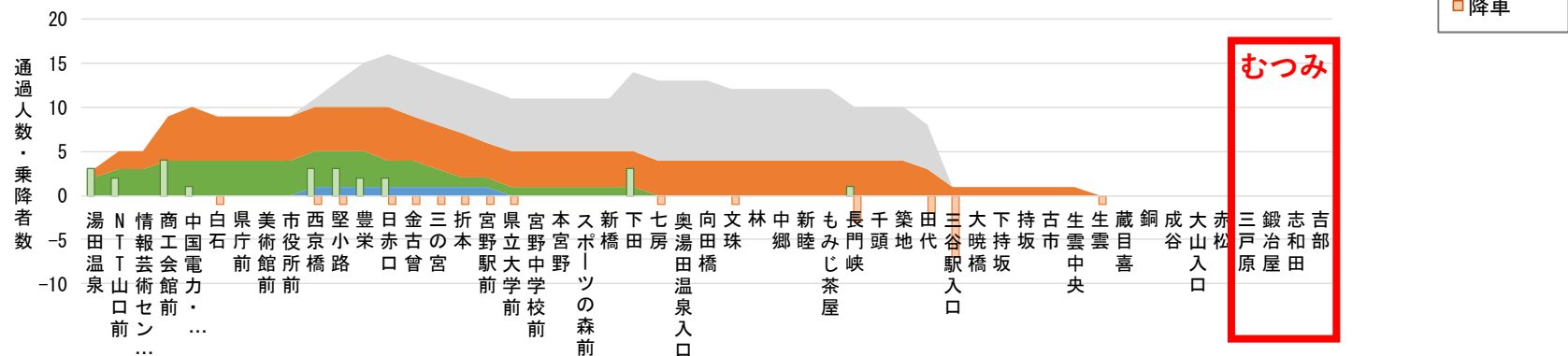
- 吉部～湯田温泉線は、1日あたり6便運行しており、うち2便は湯田温泉～JR三谷駅間となっています。
- 山口市内での高齢者の利用が多く、むつみ地域内での利用はほとんどありません。

#### ■吉部→湯田温泉



むつみ地域内での乗降はほとんどみられない。

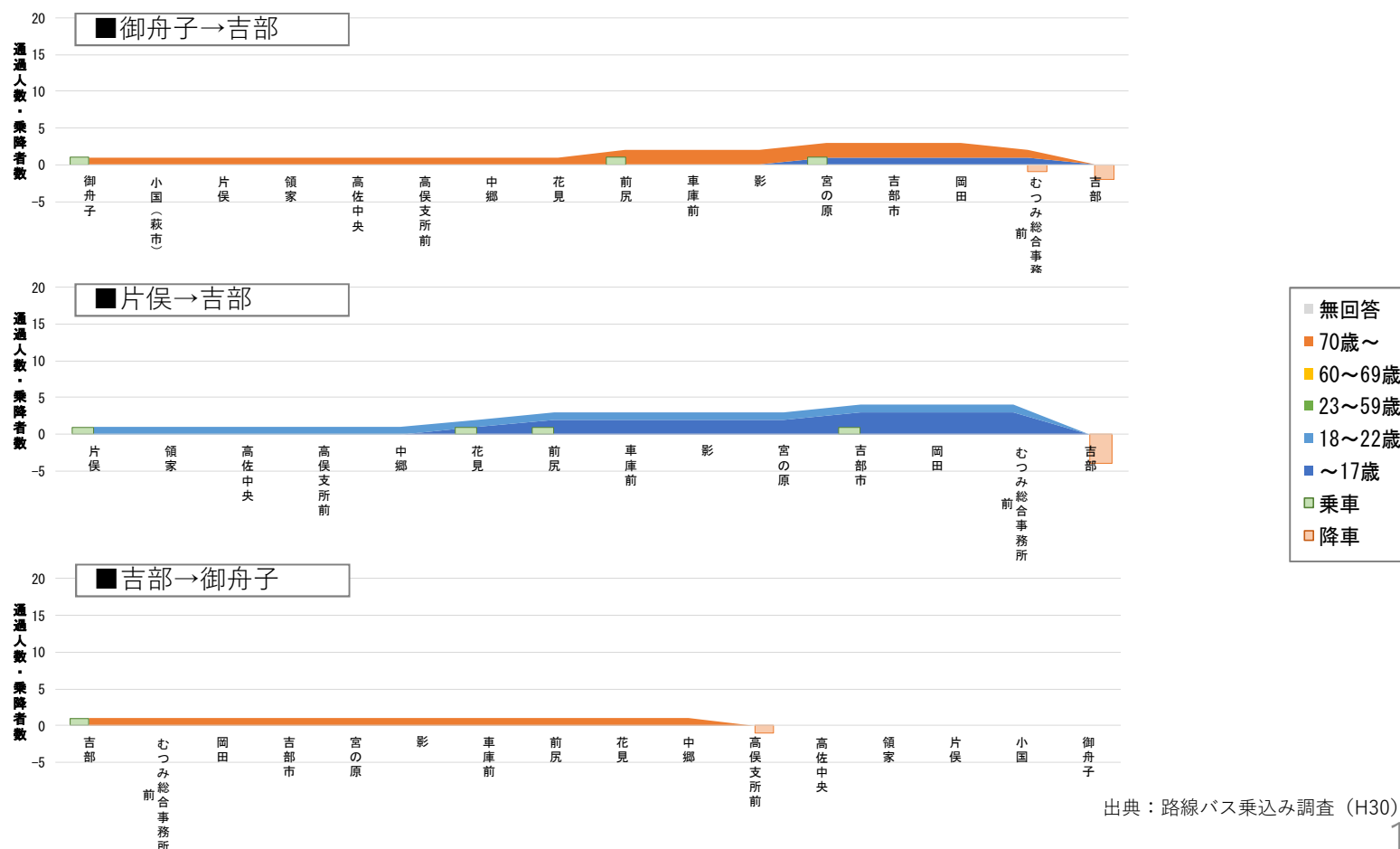
#### ■湯田温泉→吉部



## 2.むつみ地域の公共交通利用実態調査結果の概要(路線バス)

### 【防長交通 吉部～御舟子線】

- 吉部～御舟子線は、1日あたり13便運行されていますが、利用が低迷しています。(8人/日、0.6人/便)
- 1便目の6:40片俣発→6:56吉部着後、萩バスセンター～吉部線に乗継ぐ通学利用が主な利用となっています。  
(学生5名程度)
- 利用の低迷する吉部～御舟子線に関しては、深刻な運転士不足も相まって、将来的に路線を維持することが困難になる可能性があります、今後、代替交通手段への見直しも視野に入れていく必要があります。



出典：路線バス乗込み調査 (H30)

## 2.むつみ地域の公共交通利用実態調査結果の概要(ぐるっとバス)

- 萩市は、交通空白地域における住民の地域内移動手段の確保を目的として、「ぐるっとバス」を各地域で運行しています。
- むつみ地域のぐるっとバスは、定時定路線とデマンド運行の複合型で運行しています。
- 農協のむつみ支所が紫福支所へ統廃合されたことから、平成30年4月に吉部から紫福へのルートの新設しました。

### 吉部地区

鱒谷方面 (定時定路線運行)	運行曜日	停車場	鱒谷 ⇒ むつみ診療所(総合事務所)							むつみ診療所(総合事務所) ⇒ 鱒谷									
	火	運行時刻	鱒谷	柳	長尾	鍛冶屋	三戸原	麻生	志和田	診療所	診療所	志和田	麻生	三戸原	鍛冶屋	長尾	柳	鱒谷	
大光寺方面 (定時定路線運行)	運行曜日	停車場	大光寺 ⇒ むつみ診療所(総合事務所) ⇒ 広瀬(防長バス駐車場)							広瀬(防長バス駐車場) ⇒ むつみ診療所(総合事務所) ⇒ 大光寺									
	火	運行時刻	大光寺	尾の坂	湯の口	佐波木	朝鳥	宇立	吉部市	診療所	広瀬	広瀬	診療所	吉部市	宇立	朝鳥	佐波木	湯の口	尾の坂
二反田方面 (定時定路線運行)	運行曜日	停車場	吉部⇒紫福			二反田 ⇒ むつみ診療所(総合事務所)				むつみ診療所(総合事務所) ⇒ 二反田				紫福⇒吉部					
	金	運行時刻	広瀬	紫福ふれあい市	二反田	深谷	天坪	平ヶ重	殿川	広瀬	診療所	診療所	広瀬	殿川	平ヶ重	天坪	深谷	二反田	紫福ふれあい市
毛木方面 (定時定路線運行)	運行曜日	停車場	毛木 ⇒ むつみ診療所(総合事務所) ⇒ 広瀬(防長バス駐車場)							広瀬(防長バス駐車場) ⇒ むつみ診療所(総合事務所) ⇒ 毛木									
	金	運行時刻	毛木	千石台	菅谷	毛木山	江良	岡田	診療所	広瀬	広瀬	診療所	岡田	江良	毛木山	菅谷	千石台	毛木	
吉部方面 (デマンド運行)	運行曜日		デマンド運行 8:30~17:15																
	水																		

### 高俣地区

後井方面 (定時定路線運行)	運行曜日	停車場	後井 ⇒ 高俣支所 ⇒ むつみ診療所(総合事務所)						むつみ診療所(総合事務所) ⇒ 高俣支所 ⇒ 後井										
	火	運行時刻	後井	西側	羽月	岸高	高俣支所	中郷	診療所	診療所	中郷	高俣支所	岸高	羽月	西側	後井			
花見方面 (定時定路線運行)	運行曜日	停車場	花見 ⇒ 高俣支所 ⇒ むつみ診療所(総合事務所)						むつみ診療所(総合事務所) ⇒ 高俣支所 ⇒ 花見										
	火	運行時刻	花見	伏馬	影畑	下領	宮廻	高俣支所	診療所	診療所	高俣支所	宮廻	下領	影畑	伏馬	花見			
御舟子方面 (定時定路線運行)	運行曜日	停車場	御舟子 ⇒ 高俣支所 ⇒ むつみ診療所(総合事務所)						むつみ診療所(総合事務所) ⇒ 高俣支所 ⇒ 御舟子										
	金	運行時刻	御舟子	小国	金谷	札の奥	片俣停留所	領家	中央	高俣支所	診療所	診療所	高俣支所	中央	領家	片俣停留所	札の奥	金谷	小国
高俣方面 (デマンド運行)	運行曜日		デマンド運行 8:30~17:15																
	月																		

むつみ地域のぐるっとバスのチラシ (H30年4月~)



## 2.むつみ地域の公共交通利用実態調査結果の概要(ぐるっとバス)

- むつみ地域のぐるっとバスは、1便あたりの利用者が1人に満たない便が多く、利用が低迷しています。
- 高俣地区のデマンド便は、1便あたり4人と利用が多く、定期的で開催されるサロン活動や買い物支援の移動手段として利用されています。また、吉部バス停での路線バスへの乗継も1割程度あります。

1人/便に満たない便が多く、利用が低迷している

0 2.5 5人/便

地域	地区	運行形態	運行方面	運行日	運行回数	H30実績	H29実績	H28実績	H27実績
むつみ	吉部	定時定路線	鱒谷方面	週1日	2便	0.4	0.2	0.2	0.2
		定時定路線	大光寺方面	週1日	2便	0.9	0.7	1.0	1.3
		定時定路線	二反田方面	週1日	2便	0.1	0.6	2.2	2.1
		定時定路線	毛木方面	週1日	2便	0.2	0.4	0.6	0.9
		デマンド	吉部地区	週1日	予約	1.1	1.2	1.6	2.2
	高俣	定時定路線	後井方面	週1日	2便	0.7	0.8	1.1	1.2
		定時定路線	花見方面	週1日	2便	0.1	0.2	0.1	0.1
		定時定路線	御舟子方面	週1日	2便	0.1	0.2	0.3	0.4
		デマンド	高俣地区	週1日	予約	4.9	4.1	3.7	4.3

※H30実績：  
 定時定路線は H30年4月～12月の運行記録  
 デマンドは H30年7月～8月の運行記録

### ぐるっとバスの運行状況と利用状況

### 3.高齢者生活支援バスについて

- むつみ地域では、住民主体による高齢者生活支援サービスとして、以下のサービスが実施されています。
- サロン活動での公共交通の利用や、住民主体の移動手段の推進により、持続可能な移動手段を確保することが必要です。

地 域	訪問型サービス（家事援助等）	通所型サービス（サロン活動等）	車 両
むつみ	名 称：むつみ愛サービス 実施団体：むつみ元気支援隊 活動内容：買い物、草取り、移動支援等 実施回数：随時	名 称：月曜サロン、男性サロン等 実施団体：むつみ元気支援隊 活動内容：サロン活動、世代間交流等 実施回数：週1回（男性サロンは月1回）	日産セレナ 平成28年12月12日購入

住民主体による高齢者生活支援サービス

## 4.むつみ地域の公共交通の課題と将来像(案)について

### 【①幹線と支線の役割分担の明確化や交通結節機能の強化等による効果的な運行体系の構築】

- むつみ地域では、防長交通は、萩地域や山口市への広域的な幹線として、むつみ総合事務所や吉部バス停などの交通結節点で地域内移動を担う支線と接続します。高齢者や高校生などの移動実態と公共交通への要望等を踏まえ、広域幹線とぐるっとバスなどの支線の役割分担の明確化を図り、交通結節機能の強化等（乗継環境や待合環境の整備など）により、また、広域幹線や支線の運行形態も含めて、住民ニーズに応じたより効果的な運行体系を構築します。

### 【②様々な交通体系の組み合わせによる住民移動手段の確保】

- 交通事業者による広域幹線交通やぐるっとバス、自家用有償旅客運送、さらに住民の支え合いによる交通などの地域コミュニティ交通等の様々な交通体系を効果的に組み合わせることにより、交通事業者・行政・住民の協働による新たな公共交通網を形成し、暮らしを支える利用しやすい、持続可能な移動手段を確保します。

### 【③利用しやすい公共交通と利用促進】

- 高齢化が進展する中で、利用者に分かりやすく乗りやすい公共交通体系を構築するとともに、とりわけ周辺部における路線バス利用に係る運賃が割高であることから、福祉施策とも連携し、公共交通利用者の負担軽減策や全ての公共交通について、持続可能な移動手段を確保するため、利用者負担のあり方を検討します。